

•報告

毎月のように、報告書が確認できませんというメールに、促され報告書を書いている。なかなか、時間がないなかレスポンスのない報告書というもののモチベーションを保つのは大変です。本当に難しい、この留学は派遣留学であり金沢工業大学のバックアップを受けている以上なにをしているか報告する義務がある。しかし、ただ報告するだけという一方通行のやりとり、いや一方的なのでやりとりではなく送りつけるだけであるが何人の人間が目を通してきているのであろう。とにかく有意義な報告書にするためにも HP に掲載され読まれて質問や意見がある方はこちら (mr.50river@gmail.com) にメールをして欲しい。

さて今月の報告書であるが、選挙と大麻について報告する。

• 選挙

最近アメリカでは選挙が行われた。とにかくこちらの学生の政治への意識が高い事に感動した。まず目にしたのが、寮の掲示板である。ここは KIT で言えば学内放送のテレビと同じくらいの頻度で学生が目にする物である。そこに選挙前は誰が出馬しているか、出馬している人の公約などの情報はどこで得られるかが記載してあった。寮内の掲示板は学生スタッフの自主制作であり時期にあった題材が目につく所に工夫して掲示してある。ここでも学生が進んで選挙について掲示している事に感心した。また学内では至る所で新聞を無料で手に入れる事が出来るため選挙シーズンになると新聞も選挙の特集が組まれかなりの数の学生が目を通してはいるはずである。また一番驚いた事は学内や寮で選挙に投票できる場所があることである。管理はボランティアの学生が行っているそうで日本とは大きく違う。ただ、学内に投票所を設置する事は学生の政治への関心を高める一つの材料になるのではないかと思う。日本では本当に若者の政治への関心が低い。学校が教える事ではないかも知れないが、危機的に学生の政治への意識が低いと思う。KIT は私立の大学のだけに投票所を設けるには少し問題があるような気はする。しかし、KIT には全学生が一日に何度も必ず目を通す学内放送のテレビがある。そこに選挙期間を伝え投票を促す物を流してはどうだろうか？反応は少ないかも知れないが選挙が近いうちにあるという事を知らせるだけで変化が生まれるのではないかと思った。

• 大麻

アメリカに来て、間もない頃に KIT で大麻の使用にかんする事件が起きた。そう日本でも大麻など違法薬物は意外と身近になりつつある。そんな中、KIT はどのような対策をしているのであろう？学期間にあるオリエンテーションでの勧告が際立ったものでそれ以降特に話は聞いていない。UIUC での大麻の取り締まりについて、これも面白い事に学生が取り締まりを行っている。寮の学生スタッフは定期的には大麻取り締まりについての研修を受けている。また取り締まり方法を聞くと大麻を焚いた時の匂いを知り、寮内で匂いがしたら検査をし場合によって取り締まるそうです。特に雨の日や雪の日が長く続き寮にこもりがちになると使用者が現れ検挙される事があるそうです。まだまだ日本では身近でないと考えられますが意外と近くまでやって来ています。KIT の中であの独特な匂いの分かる人はいるのでしょうか？前提として、やらない様に資料を配ったりする事はできる。ただ、小学校からクスリはダメという教育を受けながらもやってしまう人間が現に現れてしまったのです。大麻を吸って来たら匂いでバレ検査を受けるかもしれないというのがあれば抑止力にも繋がると思う。分かる人間が多いほど必ず密告の数も増える。オリエンテーションで疑似的な大麻の匂いを学生に嗅がせてみるのもひとつの手ではないのかと思った。